

2016 年度 協豊会関西地区 講演分科会活動

2016 年度 協豊会関西地区 第 4 回講演会
＜大林組 宇宙エレベーター実用研究開発チーム幹事 石川洋二 様＞
「宇宙エレベーター建設構想」について

2016 年度協豊会関西地区第 4 回講演会（2017 年 1 月 25 日・於 住友クラブ 3 階大会議室）は、株式会社大林組 宇宙エレベーター実用研究開発チーム幹事の石川洋二様をお招きし、「宇宙エレベーター建設構想」についてご講演を頂きました。

石川様は、昭和 58 年東京大学大学院 工学系研究科 航空学を専攻された工学博士で、平成元年に大林組に入社されました。現在は、宇宙エレベーター要素技術実証研究開発チームの幹事として、宇宙エレベーターの開発を推進されています。

講演タイトルの「宇宙エレベーター」とは、地上と宇宙をエレベーターでつなぐ、これまでにない輸送機関です。人や物資を経済的に大量に宇宙に搬送するために、ロケットの代わりとして建設され、途中にターミナル駅を備えた地上と宇宙を繋ぐ総延長 9.6 万 km のケーブルを、クライマーと呼ばれるエレベーターで運行する構想です。近年の技術開発により、この条件に応えられる素材「カーボンナノチューブ」が開発されたことから、かつての夢物語が具体的な構想へと現実性を帯びてきました。

まだまだ実現に向けた課題も多くありますが、理論的には可能であり、着実に課題を解決していけば、2050 年には訓練を受けた宇宙飛行士でない我々でも宇宙を訪れるチャンスがやって来るかもしれません。

講演では、建設の手順やエネルギーの伝送方法など専門的な内容を、協豊会メンバーにも理解出来るよう大変わかりやすく説明していただきました。また、石川様は有名人との対談などでも、宇宙エレベーター構想の認知に向けてご活動されています。

今回の講演で、宇宙を舞台にした壮大な話が、実現に向けて進んでいる事を理解することが出来ました。人類の夢を乗せた宇宙エレベーターをぜひ実現していただきたいと思います。



【講師の石川様】